

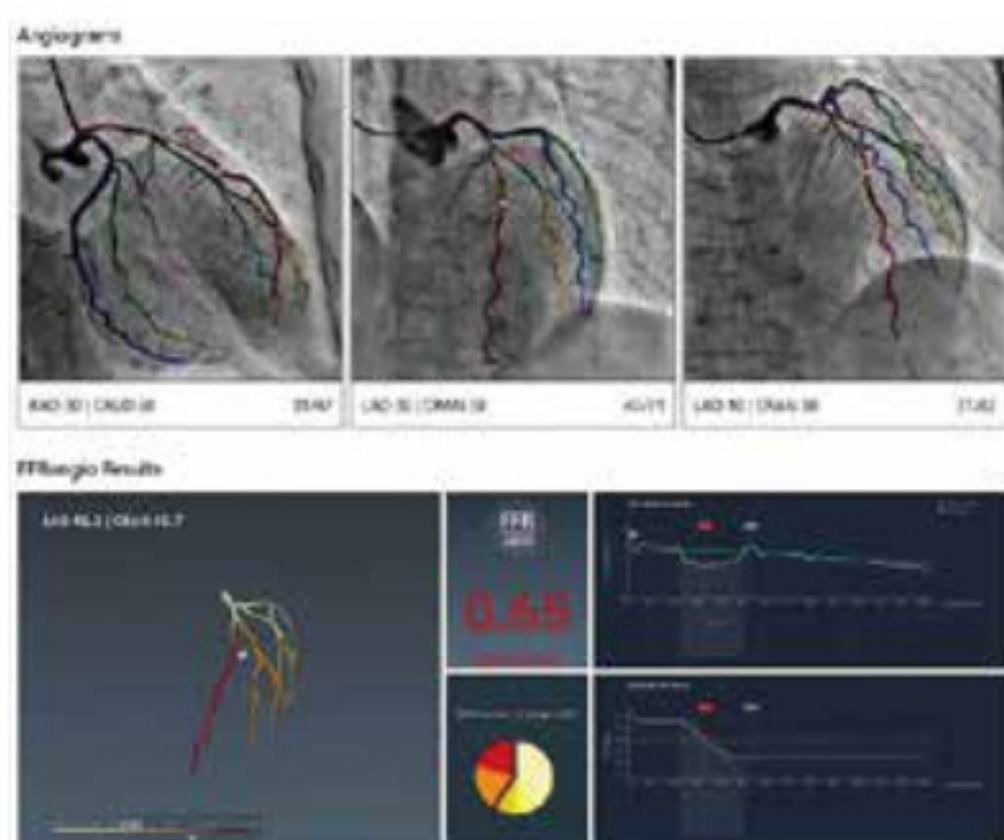
新規導入 医療機器の紹介

FFR-Rangio装置

狭心症は、心臓の筋肉に血液を行き渡らせる冠動脈が動脈硬化で狭窄して、一時的に心筋が血液・酸素不足に陥って（虚血が生じて）、胸の痛みや圧迫感を引き起こす病気のことで、最も確実な診断方法には、心臓カテーテル検査があります。

この検査では、手首や足の付け根の動脈からカテーテルを挿入し、冠動脈に造影剤を注入して狭窄の程度を確認することが出来ます。しかし、この方法は冠動脈の形態評価（見た目の狭窄の程度）には優れた診断方法ですが、その狭窄により実際に心臓の筋肉に血液や酸素不足が生じているか否か（虚血の有無）は評価できません。心臓カテーテル検査での虚血の評価のためには、冠動脈内に特殊なガイドワイヤーを挿入し、薬剤を使用して、冠血流予備量比（FFR）という指標を測定する追加の検査が必要です。FFRが0.8以下になると、虚血があると判断し、経皮的冠動脈形成術や冠動脈バイパス術の適応を考慮します。

今回、当院ではThe CathWorks FFR-Rangio® System (FFR-Rangio装置・CathWorks社製)を導入し、福井県で初めて臨床の場で使



冠動脈造影の画像からFFRを迅速に測定



循環器内科部長
坪川 明義

用を開始しました。この装置は、一般的に行われている冠動脈血管造影の画像から、A-と高度なアルゴリズムの組み合わせで解析を行い、FFRを測定することが可能となり、従来のFFR測定時に行われていた冠動脈内へのワイヤーの挿入や薬剤の使用など患者さんの負担になる検査の追加の必要性がなくなりました。冠動脈造影検査のみで、冠動脈の狭窄と虚血の有無を同時に評価できるため、より安全で迅速に、データに基づいた治療方針の決定が可能です。今後の臨床に活用していきたいと考えています。

院外処方せんの有効期限切れ、紛失にご注意を

当院では令和6年10月15日（火）より、全面的に院外処方に移行しました。お薬を院外の保険薬局で受け取る際には、下記の点にご注意ください。

①院外処方せんの有効期限は処方日を含めて4日間（土曜日、日曜日、祝日を含む）
②院外処方せんの有効期限切れや紛失した場合の再発行の費用は全額自己負担

③院外処方せんは、なるべく平日の日中の間に保険薬局へ
本館正面玄関横に院外処方せんFAXコーナーがあります。診察終了後に病院内から希望の保険薬局へ院外処方せんをFAX送信することで、薬の受け取りがスムーズになります。FAXの操作について、補助員がサポートいたしますので、ぜひご利用ください。

処方せん発行 1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
				期限切れ 使えません
金曜日	土曜日	日曜日	月曜日 (祝日)	火曜日

※土曜日、日曜日、祝日がお休みの保険薬局が多いのでご注意ください

訪問看護車両を整備しました (公益財団法人JKA競輪とオートレースの補助事業)

当院訪問看護ステーションは、24時間365日対応可能な体制を整えており、利用者が住み慣れたご自宅や地域での療養生活を送れるよう、日々活動を続けています。

このたび、公益財団法人JKAの補助を受け、訪問看護を提供できるよう努めてまいります。

